

入札参加等資格審査申請書（物品等）

令和 年 月 日

佐野市長 様

令和5・6年度において、佐野市が行う物品製造・販売・委託業務等に係る入札等に参加するにあたり、次のとおり入札等参加等資格審査を受けたいので申請します。

申請者	ふりがな			
	商号又は名称			
	ふりがな			代表者印(実印) 実印
	代表者役職・氏名			
	ふりがな			
	本店所在地 又は住所	〒 - 都道府県名		
		(登)		
電 話	- -	F A X	- -	
e-m a i l				
年間委任を受けた代理人	ふりがな			
	支店等名称			
	ふりがな			受任者印 受任者印
	役職及び氏名			
	ふりがな			
	所在地	〒 - 都道府県名		
	電 話	- -	F A X	- -
e-m a i l				

この申請についての問合せ先

連絡先住所	〒 -		
担当部署名		ふりがな 担当者名	
電 話	- -	F A X	- -

実績調書

登録を希望する業種について直前・直前々の営業年度中に完了した業務の実績について、各年度ごとに主な実績を記入してください。

業種区分	(大分類-小分類) —
------	----------------

①直前々の実績
年 月 日～ 年 月 日

契約内容	発注者	契約金額 (千円)	完納(完了)年月
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日

②直前の実績
年 月 日～ 年 月 日

契約内容	発注者	契約金額 (千円)	完納(完了)年月
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日
		千円	年 月 日

- ※1 直前2営業年度の両年度共に契約実績が必要です。
- ※2 本表は、直前2営業年度の両年度における主な実績について記載すること。
件数の多い場合は、主なものから1つの表に入るだけ記入してください。
- ※3 直前2営業年度両方の実績の記載がないものは、登録できません。

佐野市内営業所等の調査票

商号又は名称						
本社所在地						
佐野市内営業所等	営業所等名					
	所在地					
	営業所の代表者の役職及び氏名					
	開設年月日					
営業所の形態	<input type="checkbox"/> 専用事務所 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	<input type="checkbox"/> 住宅と兼用 (住宅の一部を借用等)					
職員数	事務系	人	営業	人	その他	人
佐野市税の納付状況		別添の納税証明書のとおり				
営業所等の所在図						

※ 佐野市内に本店・支店・営業所等を有する場合は必ず提出してください。

使 用 印 鑑 届

令和 年 月 日

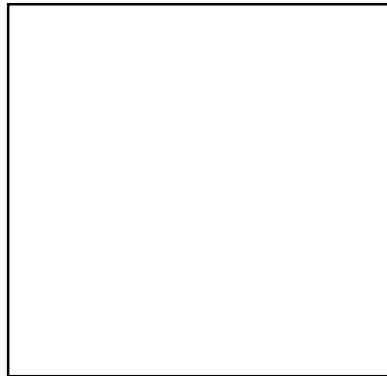
佐野市長 様

届出者 商号又は名称
所在地又は住所
代表者氏名



入札の参加、契約の締結並びに代金の請求及び受領のために使用する印鑑を次のとおり届け出ます。

使用印鑑



委任状

私は、次の者を代理人と定め、令和5年4月1日から令和7年3月31日まで、下記の事項すべての権限を委任します。

佐野市長 様

商号又は名称
所在地又は住所

代表者氏名

代表者印(実印)

受任印

記

委任事項

- ・ 入札及び見積に関する事。
- ・ 契約の締結に関する事。
- ・ 契約の履行に関する事。
- ・ 代金の請求及び受領に関する事。
- ・ 復代理人の選任に関する事。

(フリガナ)			
受任営業所等			
受任者役職名			
(フリガナ)			
受任者氏名			
営業所等所在地	〒 -		
営業所等電話番号		営業所等 F A X 番号	

免税事業者届出書

令和 年 月 日

佐野市長 様

届出者 商号又は名称
所在地又は住所

代表者氏名

次の期間については、消費税法の規定により消費税を免税されているのでその旨を届け出ます。

期間 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

誓 約 書

令和 年 月 日

佐野市長 様

商号又は名称
所在地又は住所
代表者氏名

実 印

私は、佐野市が執行する全ての入札に関し、公共事業の重要性を十分認識し「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）」等に抵触する談合等の行為又は疑惑を持たれるような行為は、一切しないことを誓約するとともに、今後とも同法等を遵守いたします。

なお、落札後、談合等の事実が明らかになった場合には、契約を解除されても異議申立てはいたしません。

誓 約 書

令和 年 月 日

佐野市長 様

商号又は名称

所在地又は住所

代表者氏名

実 印

私は、佐野市が佐野市暴力団排除条例に基づき、公共工事その他の市の事務又は事業により暴力団を利することとならないように、暴力団員はもとより、暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者を入札、契約から排除していることを認識したうえで、下記事項について、誓約いたします。なお、これらの事項に反する場合、契約の解除等、貴市が行う一切の措置について異議の申し立てを行いません。

記

- 自己、自社、自社の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ）は、次の各号のいずれにも該当しません。
 - 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）である。
 - 役員等が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である。
 - 暴力団又は暴力団員がその経営又は運営に実質的に関与している。
 - 暴力団員であることを知りながら、暴力団員を雇用し、又は使用している。
 - 暴力団又は暴力団員であることを知りながら、その者と下請契約又は資材、原材料の購入契約等を締結した。
 - 暴力団員である事実を知らずに、暴力団員を雇用している場合又は暴力団若しくは暴力団員である事実を知らずに、その者と下請契約若しくは資材、原材料の購入契約を締結した場合であって、当該事実の判明後すみやかに、解雇に係る手続きや契約の解除など適正な是正措置を行わない。
 - 自社、自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用した。
 - 暴力団又は暴力団員に経済上の利益又は便宜を供与した。
 - 役員等が、個人の私生活上において、自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的若しくは第三者に損害を与える目的をもって、暴力団若しくは暴力団員を利用したとき、又は暴力団若しくは暴力団員に経済上の利益若しくは便宜を供与した。
 - 役員等が、暴力団又は暴力団員と密接な交際を有し、又は社会的に非難される関係を有している。
- 前項各号に該当する事由の有無の確認のため、役員名簿等の提出を求められたときは、速やかに提出します。
- 佐野市競争入札参加者指名停止要綱に基づく指名停止の措置を受けている者及び第1項各号に該当する者を下請負人（一次及び二次下請負以降すべての下請負人を含む。以下同じ。）としません。
- 第1項各号に該当する者を下請負人としていて、佐野市から該当下請契約の解除（当該下請契約の当事者でない場合は、当事者に対して解除を求めることを含む。以下「解除等」という。）を求められた場合は、解除等の求めに従います。

※第1項第10号の解釈について

「密接な交際」とは、例えば友人又は知人として、会食、遊技、旅行、スポーツ等を共にするなどの交遊をしていることである。

「社会的に非難される関係」とは、例えば構成員等を自らが主催するパーティその他の会合に招待するような関係又は構成員等が主催するパーティその他の会合に出席するような関係である。

入札等参加資格審査入力票(物品等)

物品・役務-1/2

※ **朱書き**で記入し、**2ページとも提出**すること。

※ ここには何も記入しないこと。

受付番号	
------	--

フリガナは、濁点、半濁点も1文字として扱い、左詰めで記入すること(法人の種類を表す文字は記入しないこと)

商号または名称 ※左詰めで記入すること。	
カナ	
漢字	

左詰めで記入すること(濁点、半濁点は1文字として扱わないこと)法人の種類を表す文字については、右下表の略号を用いること。

代表者役職名 (漢字)

左詰めで記入すること(それぞれ姓と名前の間には空白を入れること)

代表者氏名
カナ
漢字

濁点、半濁点は1文字として扱い、左詰めで記入すること

法人の種類を表す略号表

種類	略号
株式会社	(株)
有限会社	(有)
合資会社	(資)
合名会社	(名)
協同組合	(同)
協業組合	(業)
企業組合	(企)
一般財団法人	(財)
一般社団法人	(社)

本店所在地

※市町村コードは、所在地が栃木県内の場合のみ記入すること。

郵便番号	都道府県コード	都道府県名(漢字)	市町村コード	本店所在地市区町村名(漢字)

↑ 都道府県コード表を参照

※左詰めで記入すること。また、「大字」、「字」の文字は記入しないこと。また、「丁目」「番」「号」は「一」を用いること。

町名・番地・ビル名等

市外局番、局番、番号を「一」で区切り、左詰めで記入すること

電話番号	F A X 番号

左詰めで記入すること。代理人を置く場合は記入しないこと(代理人を置く営業所等でメールアドレスがない場合は記入すること)

Eメールアドレス 1

希望する営業種目 (必ず記入。また、記載内容は申請書と一致するように記載すること。)

希望する大分類の記号及び小分類の番号を記入すること。

営業経歴書と同じ金額を記載すること

大分類	小分類	具体的営業種目 (40文字以内で取り扱い品目等を簡潔に記入してください。)	年間平均実績高 (千円) ↓

- 申請可能な業種数は市内業者6業種まで、市外業者4業種までとします。
- 物品及び役務提供の両方を希望する場合は、上記1の条件プラス2業種まで申請可とします。
ただし、物品及び役務とも上記1の制限数を超過して希望することは出来ません。
例) 市内業者が物品7業種 役務1業種の申請は不可

受付番号				
------	--	--	--	--

※金額は全て右詰で記入すること。

直前実績高(千円)	資本金(千円)	自己資本金(千円)

右詰めで記入すること

営業年数	従業員総数	うち佐野市内営業所の勤務数

該当する番号を○で囲むこと

佐野市内営業所の有無		消費税免税区分	
有	0	課税	0
無	1	免税	1

※ 代理人営業所名、代理人氏名、並びに所在等は、代理人を置く場合にのみ記入すること。

代理人営業所名(漢字)

途中に空白を入れず、左詰めで記入すること(営業所名等のみ記入し、商号は記載しないこと。)

代理人役職名(漢字)

左詰めで記入すること(欄が不足の際は続きを欄外に記入)

濁点、半濁点は1文字として扱い、左詰めで記入すること
(それぞれ姓と名前の間には空白を入れること)

代理人氏名
カナ
漢字

代理人営業所等所在地

郵便番号	都道府県コード*	都道府県名(漢字)

↑ 都道府県コード表を参照

※市町村コード*は、所在地が栃木県内の場合のみ記入すること。

市町村コード*	市区町村名(郡名は記載しないこと。)

代理人所在地市区町村名意向の住所きを左詰めで記入すること(「大字」、「字」の文字は記入しないことまた、「丁目」、「番」、「号」は「-」を用いること)

町名・番地・ビル名等

市外局番、局番、番号を「-」で区切り、左詰めで記入すること

電話番号	FAX番号

左詰めで記入すること ※フリーメールアドレスは、不可とします

Eメールアドレス

代理店・特約店

取扱メーカー(特約店・代理店除く)

取得年月日

許認可資格名	元号	年	月	日

元号はR. H. S. Tで記入してください

物品等入札参加資格申請書類確認表

市内・準市内・市外

No. _____

商号: _____

※提出する書類のチェック欄に○を記入。

手書きの場合は有・無は該当を○で囲み、入力する場合はドロップダウンリストから選択。

書類No.	提出書類		チェック欄		備考
			法人	個人	
1-1	入札参加資格審査申請書(物品等)				
-	入札等参加資格審査入力票				朱書き(赤字)で記入する。
1-2	営業経歴書				
1-3	実績調書				独自様式・別紙不可
1-4	市内営業所等の調査票		有・無	有・無	
1-5	使用印鑑届		有・無	有・無	
1-6	委任状		有・無	有・無	
1-7	免税事業者届出書		有・無	有・無	
1-8	誓約書 2種類(談合・暴力団排除関係)				
添付1	財務諸表(コピー可)				直近1年分
添付2	納税証明書 (コピー可)	国税	法人:その3の3	X	
			個人:その3の2	X	
		市税	市税全税目(直近2年分) ※佐野市に納税義務のある方		要領参照 直近2年分
添付3	現在事項全部証明書または履歴事項全部証明書 (コピー可)			X	
添付4	身分証明書(コピー可)		X		
添付5	特約店又は代理店証明書(コピー可)		有・無	有・無	
添付6	許認可等の証明書のコピー		有・無	有・無	
添付7	物品等入札参加資格申請書類確認表				チェック済みの本確認表を申請書とあわせて提出する。
-	長3封筒(84円切手貼付、返信用宛名記載済)				
-	A4判クリアホルダー(クリアファイル)				

※各種証明書は申請日前3ヵ月以内に発行されたものとする。

備考
